

講話の内容と講師のご紹介

「認知症にどう立ち向かうか」

認知症対策は社会的な課題です。最も多い原因であるアルツハイマー病に対しては、昨年ついに初の根本治療薬が処方できるようになりました。その一方で、発症を予防するための社会的取り組みも注目されています。この地域の認知症対策をどう進めるべきか。今回は、先端医療の実現と発症予防のための社会的介入の可能性についてお話しします。

講話 1

西村 正樹

講師

養父市八鹿町出身。八鹿高校から京都大学医学部へ。その後、東京都立神経病院、京都大学大学院、トロント大学留学を経て、滋賀医科大学助教授、2014年より教授。昨年4月より八鹿病院院長。日本神経学会及び日本認知症学会の専門医・指導医。日本認知症学会元理事。

「社会経済から見た健康加齢」

全国の健康加齢に関する男女別・地域別の特徴、健康寿命と平均寿命の関係、更には、健康加齢を増進させるために経済、社会、医療、日常生活面でどのような点に留意することが望ましいかお話しします。また、養父市の健康加齢の特徴とあわせ、市民の皆様の健康加齢の増進のためには、地域コミュニティづくり、地域公共交通の整備、地域経済振興の重要性についてお話しします。

講話 2

光多 長温

講師

1967年東京大学経済学部卒業後、日本開発銀行（現、日本政策投資銀行）入行。名古屋支店長を経て、1995年富士通総研常務兼研究理事、鳥取大学地域学部教授を歴任。2015年より公益財団法人都市化研究室理事長。養父市市政15周年特別功労賞受賞。

法人のご案内



一般財団法人

医療文化経済グローバル研究所

Glocal Institute of Medicine, Culture and Economy

ホームページはこちら
<https://mce.or.jp>



(一財) 医療文化経済グローバル研究所は、医療、文化・芸術、経済分野の連携により、健康加齢を促進し、市民の幸福度の向上に向けた調査・研究・提言・支援等の取組を行い、市民が幸福に暮らしていける持続可能な地域共生社会の創造に寄与することを目的に市が設立した法人です。

当法人役員と市民の皆さんとが直接、交流できる機会をつくることを目的に、「健康」や「幸福」に関する市民講座「養(よう)」を市内各地で定期的に開催していきます。

【お問い合わせ】 〒667-0021 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1685-2 やぶパートナーズ株式会社 2F
TEL / 079-660-7478 FAX / 079-660-1375 mail / info@mce.or.jp

※ お電話は繋がらない場合がございます。



第2回

みんなで幸福な生き方

(Well Being) を考える!

Check!

一般財団法人

医療文化経済グローバル研究所

市民講座 「養(よう)」

医療・健康 × 文化・芸術 × 経済・社会

2024年

5/25(土)
13:30-15:30

場所

関宮ふれあいの郷 2F 集会室
養父市関宮 193

主催： 一般財団法人

医療文化経済グローバル研究所

協力：養父市

プログラム

13:30

① 開会

② 挨拶とメッセージ（薬の上手な飲み方）

代表理事兼研究所所長（京都大学名誉教授） 中尾 一和

13:45

③ 講話 1 「認知症にどう立ち向かうか」



西村 正樹

（法人理事、研究所医療医学部門主任研究員）
公立八鹿病院院長、
滋賀医科大学神経難病研究センター客員教授

14:30

④ アトラクション・パフォーマンス



フォークソングデュオ

吉田村



14:50

⑤ 講話 2 「社会経済から見た健康加齢」



光多 長温

（法人理事、研究所経済・社会部門長兼主任研究員）
公益財団法人 都市化研究公室理事長

15:30

⑥ 閉会

memo

予告

第3回 市民講座「養」

【日時】7月20日（土）13:30～
【場所】おおやホール

■ 挨拶とメッセージ
「認知症予防に有効な生活習慣」
中尾 一和 代表理事兼研究所所長（京都大学名誉教授）

【講話 1】「つながりを生む文化芸術」
～認知症、パーキンソン病と演劇・ダンス
【講師】古賀 弥生
（研究所主任研究員）
芸術文化観光専門職大学芸術文化観光学部長教授

【講話 2】「おせっかい」で健康の輪を上げよう

【講師】近藤 尚己
（法人理事、研究所主任研究員）
京都大学大学院医学研究科
社会健康医学系専攻社会学分野 主任教授

※内容は変更になる場合があります。